

# 波音

なみおと



清水海岸だより 第15号



## 特集

### 「海岸侵食から地域を守る」 ～今年度の対策工事～

#### 〈海岸地形は変化する〉

この図は、約1年にわたる海岸から海中の地形変化を示したものです。赤は土砂が増えたところ、青は土砂が減ったところです。最も濃い色が、2mの変化を表しています。(地形が大きく変化していることがお分かりになると思います)

年に2回以上、このような測量をして、海岸侵食の状況や対策の効果を確認しています。

平成24年3月に開催した有識者等による清水海岸侵食対策検討委員会に測量結果を提示し、侵食の状況等を検討していただきました。その結果、今年度は、計画通り侵食対策を進めるとともに、引き続き測量等により監視を続けていくこととなりました。

# 「海岸侵食から地域を守る」

## 今年度も海岸侵食から地域を守る工事を実施します。

～平成24年度海岸侵食対策工事の概要～

清水海岸では、今年度も海岸侵食対策の工事を実施します。海岸侵食が進み砂浜がなくなると、台風などによる高波が堤防を越えたり堤防が破壊する恐れがあります。砂浜を回復させる工事は、地域の安全を守るために必要不可欠なものと考えています。海岸侵食から地域をまもるため、工事への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

### 砂浜の回復を手助けする(サンドリサイクル養浜)

場所:三保灯台～鎌ヶ崎付近を予定  
時期:10月頃からを予定

砂浜の幅が狭い箇所を中心に、飛行場付近に打上げられる土砂を採取して投入します。飛行場付近は、安倍川から流れてきた土砂が最終的にたまる場所です。流されて深海へと消えてしまう前に採取して、養浜に生かします。採取にあたっては、砂浜幅が十分にあること、かつ採取した分の土砂が回復することを確認しながら工事を進めます。



鎌ヶ崎付近で実施した平成23年度工事



### 砂浜の回復を手助けする(サンドバイパス養浜)

場所:折戸～蛇塚付近を予定  
時期:蛇塚は実施中、その他の地域は10月頃からを予定

砂浜の幅が狭い箇所を中心に、安倍川から土砂を運んで投入します。清水海岸の土砂は、安倍川から流れ出て波によって運ばれてきますが、清水海岸に十分な量がたまるには長い時間がかかります。砂浜の回復を少しでも早めるため、安倍川の土砂を人工的に運搬(バイパス)します。

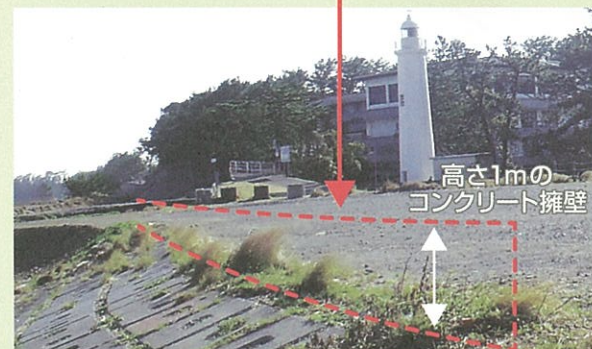


折戸付近で実施した平成23年度工事

### 堤防を高くして波が入り込むのを防ぐ

場所:三保灯台前  
時期:10月頃からを予定

三保灯台付近では、昨年来襲した台風15号の高波が、約100mの区間で堤防を越えました。この区間は、海岸侵食の進展で波が堤防を越えやすくなっています。波が越えにくいコンクリートの直壁で、堤防を1m高くする予定です。安全の確保とともに、地元の皆さんや観光客の利用、及び景観に極力配慮するよう設計を進めています。



三保灯台付近の堤防高上げ予定箇所

### 安全に十分注意します

工事を進める際は、以下の3点を重点的に実施します。

① 交通法規と交通マナーを厳守します

工事の受注者には、ダンプトラックなど工事車両の交通安全を厳守させます。また、工事の状況を厳しく指導・管理します。

② 交通整理員を配置します

住宅地を走行する場合は、交差点に交通整理員を配置します。地元車の優先と交通安全を確保できる体制をとります。

③ 工事案内看板を設置します

工事箇所や注意していただく必要がある場所には、工事箇所を知らせる看板や注意を呼びかける看板を設置します。

### あと一步のところまで来ています

#### ～砂浜回復の指標～

静岡海岸から駒越西付近までの海岸に沿って「離岸堤」という構造物が並んでいます。静岡県では、この離岸堤の岸側に砂が堆積することが、砂浜の回復を示す重要な指標と考えています。写真のとおり、静岡海岸から順に砂の堆積が進んでおり、あと少して清水海岸に達しそうな状況です。養浜により対策を進め、当面の目標として、約10年後に増や蛇塚地区の離岸堤背後に砂がつく状態を目指しています。



## 津波対策の見直し

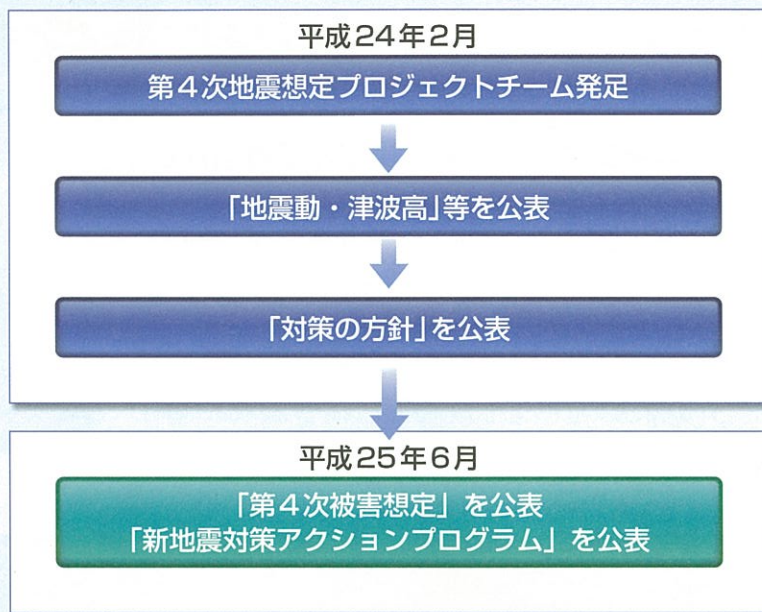
静岡県では、平成25年6月を目途に、新しい地震対策アクションプログラムを策定する予定です。この中で、今後の津波対策の内容が示されます。

既にプロジェクトチームを立ち上げており、検討を進めています。

今年度中には、想定する地震動や津波高も公表される予定です。

折に触れ、新聞やテレビなどの報道、県の広報誌を通じて、地域の皆様に策定状況をお知らせします。

## 「アクションプログラム策定スケジュール」(概略)



## 海岸には危険な箇所があります。御注意ください。

海岸が高波により侵食されると、「浜がけ」と呼ばれるガケのような地形が出来る場合があります。

「浜がけ」は、波の影響で不安定な状態にあり、崩れ落ちる恐れがあります。落差が大きいため転落しても危険ですので、「浜がけ」には近づかないようにしてください。

また、海岸に設置されているブロックにも、近づいたり付近を泳いだりしないようにお願いします。

ブロックは滑りやすく、また、付近の海流が複雑で、ブロックに打ちつけられたりブロックの間に挟まる等、命の危険があります。



折戸で発生した「浜がけ」(平成23年7月)

Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO

お問合せ、ご意見はこちらまで



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

静岡県静岡土木事務所

静岡市駿河区有明町2-20 (〒422-8031)

TEL 054-286-9156 FAX 054-286-9100

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>

E-mail [shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp)

